

クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

□癖 でまっすん…



『今日は、女人禁制の話をする事になっていたのう。女人禁制の話をするために資料を探したんじゃよ。面白い資料があつてな、昔の富士山の様子を紹介しながら、女人禁制の話をしよつと思つておるんじゃ。』

『現在は、富士山ミュージアムに変わった旧富士吉田市民俗博物館で、平成9年に「富士山明細図」という企画展があつたでまっすん。江戸時代末期に製作されたもので、この図の特徴は、当時の山内の諸施設のたたくまいが描かれておるでまっすん。昭和39年(1964)富士スバルラインが開通以降、廃道と見粉うばかりに衰退した5合目以下の登山道についても、この図によつて当時の景観を見ることが出来るでまっすん。興味深いでまっすん。』

『「富士山明細図」をじっくり紹介できれば良いんじゃが、講座衛門通信では、大我講(根元八湖霊場)と関係の深いものを紹介しよつと思つておるんじゃよ。富士信仰に関わる資料は様々な形で残されておるんじゃ。特に、信憑性の高いものといへば、「甲斐国志」や「駿河国新風土記」などの地誌類は信頼はおけても文章のみの作成だつたために、信仰地の具体的な場所を特定するのが容易ではないんじゃ。しかし、この図は、富士吉田の御師によつて製作されたものだからのう、吉田口登山道に点在する信仰地・参拝所を余すことなく図に納め、さらに登山道を行きかう参詣の道者の姿までも詳細に描いておるんじゃよ。』

『この図は、56図に納めた肉筆の絵画帳でまっすん。1・古吉田之図 2・上吉田宿と書かれておるでまっすん。古吉田とは、現在の上吉田宿から東方へ1kmほどの城山から、北東の裾に「古吉田」および「上古吉田」という字があり、ここが上吉田の旧地だつたでまっすん。それ以前は、旧地上吉田よりさらに東方の小佐野という地にあつたでまっすん。』

『よく調べたな・・2上吉田宿は、御師が集住する町で、御師家は江戸時代を通して80軒前後を維持しておつたんじゃ。表通りを中心にしてほぼ東西対象をなしておつたんじゃよ。図を見るとその様子が分かるぞ。』

『3浅間神社が丁寧に描かれておるでまっすん。境内の中央には「三国大一山」の額を掲げた富士山大鳥居が描かれておるでまっすん。古くはこの鳥居の下から富士山を遥拝したと伝えられておるでまっすん。』

『この図には鳥居や社殿のほか、鐘楼・仁王門・宝塔などが描かれておるで、神仏習合時代の境内の様子をうかがうことができるんじゃ。しかし、明治初年の廃仏分離によつて撤去されてしまつたんじゃよ。浅間神社で参拝を済ませた富士参詣の道者は、境内の背後に立つ富士登山門(鳥居)を通つて富士山に向かつたんじゃ。次回も続きを話そうと思つぞ・・』



ふじのだいがこうざえもん  
富士大我講左衛門 年齢不詳

職業 大我講の先達  
(先達とは案内責任者)